

第六回コラボ実践コンテスト 先生部門 アピールシート

平成29年 1月 6日

所属名 : 山口県 周防大島町立 安下庄中学校

応募者名: 徳 永 竜 治

実践内容 (○をしてください)	学校内 ・ 学校間 ・ 教育委員会内 ・ 教育委員会と学校間
実践期間	2017年 1月 6日 ~ 月 日
実践タイトル (35文字以内) 中学校全教科板書集	
実践の目的 同一教科の教員が学校にいない小規模中学校間において、他校教員と教科内での連携や交流を深める場を提供し、授業改善にむけたきっかけをつくることで、教員の授業力向上を目指す	
実践のポイント・工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・板書を閲覧することで、参観しなくても他校教員の授業をイメージすることができる また、授業内容についてネット上で意見交換することができ、研修が深まる ・板書を共有することで、他校教員の実践例をもとに自身の授業改善に活かすことができる また互いに板書をアップしあうことで、教材研究にむけた資料が増えるとともに、授業作りに向けた意識が高まる 	
実践内容 (簡単に) ・周防大島町内には5つの中学校があるが、すべて小規模校で同一教科の教員がいないため、教科について語り合うことができない。そこで、自分が学力向上推進リーダーとして、毎日各中学校を回り、全教員の授業を参観しながら指導助言を行っていることから、自分にしかできないこととして、授業後の板書を撮影することにした。それをネット上で共有することで、参観しなくても他校教員の授業がイメージでき、意見交換の場が広がれば、授業改善への意識が高まり、授業力の向上が目指せるのではないかと考えた。そこで、コラボノートに各学校で撮った板書写真を全教科掲載し、自由に閲覧できるようにした。今後は、コメントも自由に書き込めるため、授業内容の語り場としての機能を充実させるとともに、互いの板書も掲載しあうことで、研修を深める場にもしていきたい。	
(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク上で、資料を共有できる ・コメントが自由に書き込めるため、資料をもとに語り合うことができ、ノート上で研修を深めることができる 	